

第31回 青森県総合計画審議会

日 時：令和2年2月27日（木）

15：15～16：00

場 所：青森県観光物産館アスパム5階 あすなろ

（司会）

ただ今から第31回青森県総合計画審議会を開会いたします。

私は本日の司会を務めます企画調整課の工藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は委員就任予定者31名のうち24名のご出席をいただいております。青森県附属機関に関する条例に定める定足数を満たしております。

はじめに、皆様に委嘱状を交付いたします。交付は、知事が皆様のお席を順次回りながら行いますので、委員の皆様は、私がお名前をお呼びいたしましたらご起立いただき、その場で委嘱状を受け取り、ご着席ください。

内田俊宏様。

（知事）

「委嘱状 内田 俊宏 殿

青森県総合計画審議会委員を委嘱する。

任期は令和2年3月1日から令和4年2月28日までとする。

令和2年2月27日 青森県知事 三村申吾」

改めて、よろしくお願いいたします。

（以下、同様に出席委員に委嘱状を交付）

（司会）

なお本日、小山内世喜子様、木村隆次様、古山哲司様、玉樹真一郎様、平間恵美様、福島司子様、山内リチャードソン澄子様は、都合によりご欠席されております。

次に、会長及び会長職務代理者の選任に移ります。

まず、会長の選任を行います。会長は青森県附属機関に関する条例により、委員の互選により選任されることとなっております。

自薦・他薦ございましたら、お願いいたします。

(大西委員)

大西と申します。私はこれまでも会長を務められ、高い見識をお持ちであることに加え、現青森県基本計画の策定にご尽力された、佐藤敬委員を推薦したいと思います。

(司会)

ただ今、大西委員から、佐藤敬委員にお願いしたいとのご発言がございましたが、委員の皆様、いかがでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

【一同拍手で承認】

(司会)

ありがとうございます。それでは委員の皆様のご賛同をいただきましたので、会長は佐藤敬委員に決定をさせていただきます。

それでは佐藤会長はこの後の議事進行のため、議長席にご移動願います。

それでは、ここで佐藤会長から自己紹介とご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。

(佐藤会長)

ただ今、会長に選任いただきました弘前大学長の佐藤でございます。元々非才の身ではあるのですが何とか務めさせていただきますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

(司会)

ありがとうございました。

続きまして会長職務代理者の選任に移ります。

会長職務代理者につきましては、会長が指名することとされておりますので、佐藤会長、よろしくお願ひいたします。

(佐藤会長)

それでは私から指名させていただきたいと思います。

これまで産業・雇用部会の部会長を務めていただきました、内田俊宏委員に職務代理者をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(司会)

内田委員、よろしいでしょうか。

(内田委員)

はい。よろしく申し上げます。

(司会)

それでは会長職務代理者は内田委員に決定されました。

内田委員、よろしく願いいたします。

続きまして、知事からご挨拶を申し上げます。

(知事)

本日はお忙しい中、第31回青森県総合計画審議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃から県政全般に渡りまして格別のご理解とご協力を賜りますとともに、本審議会委員へのご就任を快くお引き受けいただきました。厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、青森県ではこれまで生活創造社会の実現に向け、攻めの農林水産業の展開をはじめ、「経済を回す」仕組みづくりなどを重点的に進めてきましたが、農林水産、観光、産業雇用など、各分野において、取組の成果が着実に表れてきているところであります。

昨年4月に「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」がスタートしてから、まもなく1年が経とうとしておりますが、これまでの成果を活かしながら、青森県の最重要課題であります人口減少克服に向けて、取組を更に加速させていきたいと考えております。とりわけ若者・女性の県内定着・還流の促進、労働力不足や超高齢化時代への対応、県民の健康づくりなどを強力に進めていきたいと思っております。

また、先月、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた推薦書がユネスコに受理されましたほか、本年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されるわけであります。

こういった好機も最大限に活かしながら、県民の誰もがこの青森の地で、希望を持って安心して暮らすことができるよう、引き続きしっかりと取り組んで参ります。

委員の皆様におかれましては、「選ばれる青森」の実現に向けまして、忌憚のないご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

(司会)

ここで知事は公務のため退席をさせていただきます。

それでは議事に入りたいと思います。会議の進行は佐藤会長にお願いいたします。

(佐藤会長)

それでは議事に入らせていただきます。最初に議事（１）について事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局)

それでは事務局からご説明をいたします。

議事の（１）について、お手元に配布しております資料１、青森県総合計画審議会運営方針をご覧くださいと思います。

資料の第１にありますとおり、当審議会運営体制につきましては４つの部会を設置し、部会の委員及び部会長は審議会の会長が決定することとなっております。

それでは、佐藤会長から、部会の委員の決定及び部会長の指名をお願いいたします。

(佐藤会長)

ありがとうございます。

ただ今事務局からご説明いただいたとおり、当審議会の運営体制については、４つの部会を設置して、そこで部会ごとに、基本計画に掲げる各政策分野や、総合戦略の数値目標等の検証を実施のうえ、知事への提言書案の作成を行っていくということになります。

それでは、私から委員の皆様にご所属していただく部会について提案させていただきます。委員名簿の２枚目をご覧くださいと思います。部会別委員名簿（案）となっておりますが、各委員にご所属していただく部会につきましては、皆様の専門などを考慮し、資料のとおり決定させていただきたいと思います。

そして次に、各部会長についても私から指名させていただきます。

産業・雇用部会は内田委員

安全・安心・健康部会は角濱委員

環境部会は太田委員

教育・人づくり部会は、本日はご欠席でございますが、古山委員にお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

内田部会長・角濱部会長・太田部会長・古山部会長、これから各部会の運営について何卒よろしくをお願いいたします。

次に議事（２）につきまして事務局から説明をいただいて、その後、委員から質問などをいただきたいと思います。まず事務局からよろしくをお願いいたします。

(事務局)

資料の2の方をご覧いただきたいと思います。こちらは「令和2年度『選ばれる青森』への挑戦推進事業」の概要となります。

先ほど会長からもご説明いただきましたが、今年度の総合計画審議会においてご議論をいただき、令和2年度に向けての提言をいただきました。それを受けまして、県として「取組の重点化の基本方針」を定め、各取組の企画立案・予算編成を経て、つい先日、令和2年度当初予算案について記者発表し、そして議会への上程という運びになったものです。まだ議会が始まったばかりですので、これから議決をいただくという流れになっておりますが、どういった事業が上程されたかということをご説明させていただきたいと思っております。

1ページの下段、令和2年度は「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」の2年目となります。また、最重要課題でございます人口減少克服に向けたアクションプランとなる、第2期の「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」のスタートの年ということになります。

そこで令和2年度においては、「若者・女性の県内定着・還流」そして「結婚・出産・子育てしやすい環境づくり」といったところに特に意を用いて、各部局連携して取り組むこととしております。これまで以上に世界へ打って出るということを強く意識して、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録の実現を見据えた各種取組、東京オリンピック・パラリンピック大会開催効果の獲得、ICTの利活用による利便性の向上などを進め、併せて基本計画に掲げております「経済を回す」などの視点を重視し、新事業を構築したところです。

その総額は327億円ということで、昨年度と比べまして16億円の増となっております。

2ページ、最も重視している、「若者・女性の県内定着・還流促進」について説明させていただきたいと思っております。

これまでの「経済を回す」取組の成果が徐々に表れてきており、創業・起業者や新規就農者が着実に増えるなど、多様な仕事や魅力ある雇用の場づくりが進み、青森は確実にいい方向へ変わってきているというふうにご考えているところです。

このことを若者や保護者世代の方々にしっかりと伝えて、1人でも多くの若者・女性の県内定着、そして一旦県外に出てからの還流に繋げていくことを目指して、ライフステージに応じた切れ目のない重層的な取組を全庁一丸となって進めていきたいと考えております。

本人へのアプローチとして、まず小・中学生の頃から高校生、大学生、社会人と進んでいく段階に合わせて、県内の仕事、暮らしの情報発信や理解促進、県内の就職支援などにきめ細かく取り組むほか、県外大学生や県外転出者等の移住・Uターンの促進、女性の県内定着促進、結婚・出産・子育てしやすい環境づくりに取り組んでまいります。

併せて、子どもの進路選択に非常に影響力がある保護者・教員への働きかけ、県内企業の採用力向上、ふるさとあおもりへの愛着形成、魅力ある生活環境づくりなど、県内定着志向

の醸成に向けた周辺環境づくりに幅広く取り組むこととしております。

2 ページの下段からは、5 つの戦略プロジェクトを掲げております。

『「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクト』においては、来年度6億4千万円、「多様なしごと創出プロジェクト」では4億4千万円、『「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクト』では4億8千万円、「未来へつなぐ『地域のゆりかご』プロジェクト」で3億1千万円、「健康ライフ実現プロジェクト」で1億7千万円と、重点的に取り組む戦略プロジェクト合わせて、20億4千万円を計上しております。

3 ページ、『「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクト』です。こちらは先ほども触れましたが、高校生・大学生の県内定着促進、女性の県内定着促進、あるいは3ページ下段にある移住・Uターン促進、魅力ある生活環境づくりといったことに取り組めます。

4 ページ、結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境づくりといったことにも取り組んでまいります。

4 ページ下段、『「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクト』では、食の商品力を極めるという取組、食の販売力を極めるといった取組のほか、5 ページ目にあります、立体観光の推進、あるいは観光消費の拡大に重点的に取り組んでまいります。

6 ページ、「多様なしごと創出プロジェクト」におきましては、魅力ある雇用の創出、7 ページ、多様な労働力の確保、生産性向上・働き方改革などに取り組めます。

6 ページ下段の「未来へつなぐ『地域のゆりかご』プロジェクト」におきましては、持続可能な地域づくりの取組、保健・医療・福祉体制の充実の取組、7 ページ上段では、交通ネットワークの形成・買物支援の推進、そして多様な主体・人財の参画・協働などに重点的に取り組んでまいります。

7 ページ下段の「健康ライフ実現プロジェクト」におきましては、県民の健やか力向上の取組、8 ページ上段では「食」と「運動」で健康、こころの健康などに重点的に取り組むというものでございます。

次に、8 ページ下段で、全県計画4分野として、「産業・雇用」、「安全・安心、健康」、「環境」、「教育・人づくり」ということで、こちらの4分野に基づく取組としては、それぞれ291事業、302億円を計上させていただきました。

その主なものということで、9 ページ、産業・雇用分野では「しごとづくりと所得の向上」に向けた取組、安全・安心・健康分野においては「命と暮らしを守る」ための取組、9 ページ下段では環境分野で「自然との共生、低炭素・循環による持続可能な地域社会」ための取組、10 ページ、教育・人づくり分野では「生活創造社会の礎」に向けた取組ということで、ご覧のような取組を計上いたしました。

また、重視した視点としては、世界文化遺産登録実現を見据えた取組、11 ページ上段では東京オリンピック・パラリンピックの大会効果獲得に向けた取組、また、ICTの利活用による利便性向上に対する取組などを進めていくこととしております。

11 ページの下段は地域別計画ということで、6 県民局におきまして、それぞれの特徴、

地域資源を生かして、取組を進めることにしております。

12 ページ、「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」については、今年度いっぱい策定することにしてありますが、こちらは青森県基本計画の中の人口減少に向けた取組のアクションプランという位置づけにしており、基本計画推進事業の中で「まち・ひと・しごと総合戦略」に位置づけられる取組としては、441 事業、293 億円の取組を計上させていただきました。

12 ページ下段、基本計画の推進にあたっては、持続可能な開発目標である SDG s の理念を踏まえて進めていくことにしているところです。

以上、県の来年度の基本計画の推進に向けた取組を、足早でご説明させていただきましたが、これらの取組につきましては、来年度、これらを実践することで成果を目指していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。

(佐藤会長)

ありがとうございました。

ただ今事務局から説明をいただきましたが、何か委員の皆様からご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、特にないようでしたら予定した議事は以上となります。新たに委員に加わっていただいた方々には、新しい視点からそれぞれご意見を是非いただきたいと期待申し上げますし、また継続して委員に就任いただいた皆様にも、それぞれの専門的なお立場から引き続き忌憚のないご意見をいただきたいと考えております。皆様これから何卒よろしくお願いいたします。

それでは事務局へお返ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

(司会)

佐藤会長、どうもありがとうございました。また委員の皆様どうもお疲れ様でした。

これもちまして第 31 回青森県総合計画審議会の方は閉会をさせていただきます。